

豊田工業大学広報誌

ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

2026 Spring
CONTENTS

02	2025年度 卒業式・修了式
03	進路一覧
04, 05	もっと心躍る大学に!
06, 07	"TTIイズム"を体現
08	2026年度 入学式 / 2026年度 入試結果
09	名誉教授の称号を授与 / 2025年度寄付金のお礼とご報告
10, 11	NEWS FILE
12	受賞・表彰 / COVER STORY



進むなら、
足跡のない方へ。

vol. 123



CONGRATULATIONS

2025年度 卒業式・修了式



中野義昭学長



トヨタ自動車株式会社 中嶋裕樹副社長

2025年度卒業式・修了式を3月19日に豊田喜一郎記念ホールで挙行了ました。本年度の工学部卒業生は87名、大学院工学研究科修士課程修了生は50名、同博士後期課程修了生は4名です。

初めに、中野義昭学長から、学部代表の柴田潤さん(高分子化学研究室/旭丘高等学校[愛知県]出身)、修士代表の所京太郎さん(知能情報メディア研究室/岐阜北高等学校[岐阜県]出身)、博士代表の中谷明日佳さん(フロンティア材料研究室/瑞陵高等学校[愛知県]出身)に、それぞれ学位記が授与されました。

中野学長は告辞として、これからの10年を人生最大の“脳力”を発揮できる貴重な期間とし、結果を恐れず楽しみながら世界初の偉業に挑戦しようメッセージを贈り、「挑戦を楽しむこと自体が皆さんの人生を幸福にし、ひいては社会の健全な発展へとつながります」と述べ、これまでの研鑽を称えとともに、新たなステージでの一層の飛躍に期待を寄せました。

続いて、学校法人トヨタ学園の増田義

彦理事長は、今年、本学が45周年を迎え、同窓生も3400名を超えたことに触れ、「学び舎として、同窓生のネットワークが発展するよう支援しています。折に触れ、本学の様子に是非興味を持ってください」と母校が今後も変わらぬ心の拠り所であることを伝えました。

さらに、来賓の方々を代表してトヨタ自動車株式会社の中嶋裕樹副社長は、開発現場でのエピソードなどにも触れ、準備を重ねたうえで、前例にとらわれず果敢にチャレンジすることの重要性を解き、“足跡のない方へ”チャレンジするマインドに期待を寄せてくださいました。

日本経済団体連合会会長ならびに日本私立大学連盟会長からの祝電も披露されました。

在学生を代表して、末川慧樹さん(鳳凰高等学校[鹿児島県]出身)が、入学当初に自分たちの「お手本」となり、親切に接してくれた先輩方への感謝の気持ちを込め、はなむけとして送辞を贈りました。

これまでの激励の言葉を受け、卒業生

の木下貴翔さん(知職データ工学研究室/瑞陵高等学校[愛知県]出身)と修了生の浅川愛香里さん(触媒有機化学研究室/飯田高等学校[長野県]出身)が、それぞれを代表し、謝辞として次の通り抱負を述べました。

「知識を受け身で得るのではなく、自ら手を動かし、失敗から新たな視点を見出すことの重要性を学びました。これまで学んだ工学の基礎を糧とし、それぞれの場所で社会の課題解決に挑み、人びとの豊かな未来に貢献していく覚悟です(木下さん)」

「修士課程で得た論理的思考力や問題解決プロセスを武器に、どんな困難にも立ち向かうことができると確信しています。謙虚さや誠実さを忘れずに人生を歩んでいきたいです(浅川さん)」

最後に、学業・成績・人物共に特に優秀な卒業・修了生に与えられる「豊田奨学基金賞」および「派遣企業の会 社会人学生優秀賞」の授与が行われ、式典を締めくくりました。(P.12掲載)



2025年度(令和7年度)

卒業生・修了生の進路および博士学位授与状況について

就職決定率

100%

第一志望への就職率

82%*

*学生本人の申告(アンケート回答)による

卒業生・修了生の進路(就職は内定状況) ()は前年実績

	学部			修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
企業復帰	7(9)								
就職		23(27)			48(46)			4(0)	
進学	0(1)	57(52)			2(2)				
その他(未定・帰国等)		0(1)				0(2)			
卒業・修了者	7(10)	80(80)			50(48)	0(2)		4(0)	
【満了者】								1(2)	
合計	7(10)	80(80)			50(48)	0(2)		5(2)	
		87(90)			50(50)			5*(2)	

*博士5名は、9月末修了:2名、9月末満了退学:1名、12月末修了:1名、3月末修了:1名

一般学生の就職先企業(50音順) (名)

学部(23名)	
企業名	名
一条工務店	1
キャップジェミニ	1
KPMGコンサルティング	1
シンフォニアテクノロジー	1
スズキ	2
デンソー	2
豊田合成	1
トヨタ自動車	1
トヨタ自動車九州	1
豊田自動織機	1
トヨタ車体	4
トランスコスモス	1
パナソニックハウジングソリューションズ	1
ヒップ	1
日野自動車	1
マツダ	1
三菱重工業	1
メイテック	1

修士(48名)	
企業名	名
アイシン	1
AGC	1
オークマ	1
GMOペパボ	1
JFEエンジニアリング	1
シグマ	1
高砂香料工業	1
デンソー	2
東郷製作所	1
トヨタシステムズ	1
トヨタ自動車	16
豊田自動織機	10
豊田自動織機ITソリューションズ	1
トヨタ車体	3
日本電気(NEC)	1
フジインコーポレーテッド	1
本田技研工業	1
三菱重工業	1
三菱電機	1
村田製作所	1
ヤマハ発動機	1

博士修了(1名)	
企業名	名
トヨタ自動車	1

博士満了(1名)	
企業名	名
エム二	1

参考 一般学生の就職先企業累積上位(名)

学部・修士 1995年~	
企業名	名
トヨタ自動車	143
アイシン	129
豊田自動織機	87
デンソー	74
トヨタ車体	43
豊田合成	42
三菱電機	42
本田技研工業	39
矢崎総業	39
ジェイテクト	35
東海理化	32
トヨタ紡織	30
トヨタシステムズ	19
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ	18
住友電気工業	18
アドヴィックス	17
ダイキン工業	16
パナソニック	16
スズキ	15
ダイハツ工業	15
愛三工業	14
フタバ産業	14
キャノン	13
日野自動車	12
協豊製作所	12
トヨタテクニカルディベロップメント	12
小島プレス工業	11
日本精工	9
トヨタ自動車東日本	9

Go Forward, Beyond the Frontier



もつと心躍る大学に!

皆さんにとって、豊田工大の印象とはどのようなものでしょうか。
 「勉強がとにかく大変そう」「“知る人ぞ知る”存在で実態が見えにくい」「寮生活って想像できない」など、受験生やその保護者から不安の声が聞かれることも。開学から45年が過ぎましたが、小規模で少人数教育であるがゆえに、本学で学ぶ学生の「リアルな声」はこれまで十分に届いていなかったかもしれません。現在、学内では「もつと心躍る大学に!」を合言葉に“これからの豊田工大”を模索し始めています。そのヒントを探るべく、今回はこの春に学部を卒業した4名と修士課程を修了した3名に、本学で過ごした日々の中での「心躍る」体験について語ってもらいました。

心躍るモノづくり

小さい頃から、時計やテレビの中がどうなっているのか知りたい、ロボットが大好き、という生粋の「メカ好き」です。入学直後、1年次に履修する「工学リテラシー」の実習の場、Eiji工房で本格的な工作機器に囲まれたとき、心が躍りました!最初は、工作すること自体が楽しくて仕方ありませんでしたが、その体験がモノづくりの学問である工学の学修を進めていくと、深い理解に変わっていったように思います。半導体の微細加工を学ぶクリーンルームも含め、充実した学びの環境では、好奇心がかき立てられ、モノづくりに興味がある人はワクワクすると思います。



学部4年
三浦 舞子さん
マイクロメカトロニクス研究室
(朋優学院高校[東京都]出身)



心躍る iPlaza

学部入学時はパンデミックの混乱にあり、さまざまな交流が制限されるなど、語学力を磨くには非常に厳しい環境でした。中でも、iPlaza活動などに積極的に参加し、生きた英語力を学内で磨きました。ネイティブ講師とのレッスンで自然な対話ができたと、英語プレゼンコンテストで自分らしさを出して表現できたことなど、日常の小さな「心躍る」体験を積み重ねることにより「大きな自信」を育てました。英語は「言葉の壁」ではなく、つながるための「インターフェース」。研究を通じ得られた能力と英語力をリンクさせ、さらに広がる自分のフィールドに今から心を躍らせています。



修士課程2年
久保田 一真さん
流体工学研究室
(飯田高校[長野県]出身)



心躍る 成果発表

「工学を極めたい」という想いで、日々研究室で実験に没頭したり、仲間と議論したりしています。その一方で、成果を形にして対外発信していくことは、研究活動において不可欠なプロセスです。執筆した論文を学術誌に投稿する、応用物理学会などの国内の学会や言語が英語となる国際会議において口頭発表を行うなど、修士課程では貴重な機会を得ることができました。同領域の研究者の異なる視点に触れた時、自分の視野が拡張するのを感じ、心が躍ります。研究を通じて築いた国内外のネットワークを大切に、博士課程でも未知の課題解決に挑み続けます。



修士課程2年
石原 峻伍さん
エネルギー材料研究室
(明和高校[愛知県]出身)



心躍る研究活動

研究テーマを選定する際、先輩の知見を継承し深める道と、「足跡のない方へ」挑む道の二通りがあります。後者には確立された手法も、予測できる結果もありません。関連論文などに関心を寄せ、視野を広く保ち、独自のプロセスを形にしていける。その過程は、時には非常に困難ですが、「世界で自分しか知らない真理」に近づいている感覚は研究でしか得られないかもしれません。修士必修科目「輪講」や日常的な指導教員との議論を糧に、自由な発想で研究に打ち込める環境においては、誰しも心が躍ると思います。



修士課程2年
藤音 和輝さん
表面科学研究室
(豊田西高校[愛知県]出身)

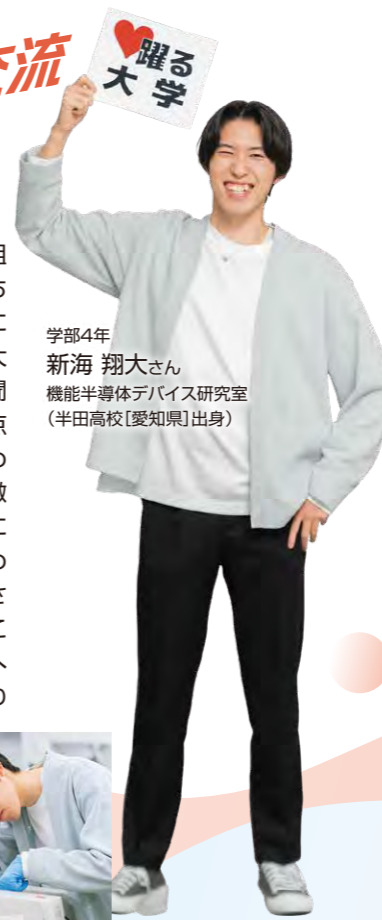


心躍る 他大学との交流

私は今、半導体の研究に取り組んでいて、近隣の他大学の人たちと一緒に合同の研究会を定期的に行っています。この研究会で他大学の学生さんたちの発表練習を聞くことは、自分にはない新しい視点に気づき、幅広い視野を持つための良い機会となっており、とても刺激になります。そして、その後にBBQなどの懇親会で交流を深めることも、私のモチベーションをさらに高めてくれます。研究室にこもらず、少しの勇気を出して外へ踏み出し、たくさんの仲間をつくりながら、みんなで一緒に切磋琢磨していく研究活動は、毎日楽しくて本当に心が躍ります。



学部4年
新海 翔大さん
機能半導体デバイス研究室
(半田高校[愛知県]出身)

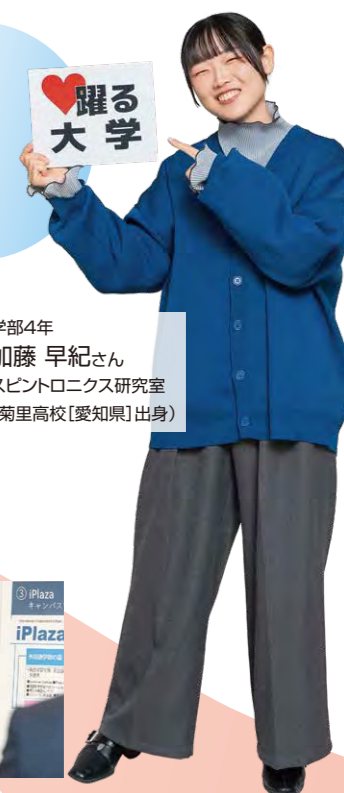


心躍る研究室

学部の工学実験では、用意されたテーマに関連した現象を、観察・解析・考察することにより、幅広い工学知識を学びました。その一方で、4年次に配属される研究室ではその知識を活かし、誰にも解明されていない事象に挑戦します。「同じテーマに取り組む研究グループは、ほぼない」という指導教員の言葉に、地球上の未知に挑む研究に携わっている高揚感で心が躍ります。また、先輩や研究員の方が積み上げてきたノウハウを活かし、自分自身も経験を重ね、メンバーの一員となっていくプロセスにもやりがいを感じます。もちろん苦労も多いですが、研究は「面白い」です。



学部4年
加藤 早紀さん
スピントロニクス研究室
(菊里高校[愛知県]出身)



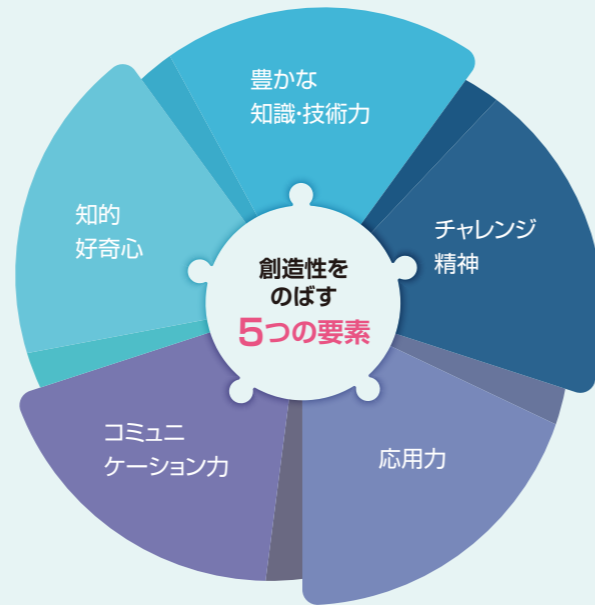
座学の学びを「創造性開発実習」でカタチに!

培った知識を、豊田工大「らしさ」の中で実践

技 術者・研究者にとってなくてはならない「創造性」。この力は、本来誰にでも備わっています。しかし、直面する課題を解決し、より良い社会を築き、人々が安全で豊かな人生を過ごせるようにするための学問である工学においては、“突出した”、“型破りな”創造性を育てる必要があります。

そして、技術者・研究者は、工学を通じて磨いた創造性により、これまでなかったものを創り出し、世の中の常識を変えるようなアイデアを、自らの手でカタチにすることが必要です。

「創造性開発実習」は、これまで座学で培ってきた知識を形にしますが、その過程で味わう喜びは、理屈では経験できないものです。教員や企業での経験豊かな指導員のサポートを受けながらも、主役はあくまで学生。高得点を目指す“勉強”ではなく、自ら問いを立て、設計し、時には工作機械と格闘しながら、成功と失敗を積み重ねていく。「創造性開発実習」では、モノづくりにおける試行錯誤のプロセスを通じて、右図のような「5つの力」を引き出していきます。



学部2年次前期・後期選択科目

創造性開発実習

授業で学んだ理論や知識を、実際のモノづくりにどう活かし、形にしていくのか、その実践的なプロセスを学びます。グループで企画から製作までを協力して行うことで、技術者・研究者として将来活躍するために必要なコミュニケーション力、協働力、プレゼンテーション力などを養います。

マイクロマウス

マイクロマウスの自立走行を題材に、そこに含まれる「センシング、位置推定、経路計画、動作制御」に関する基本原理を学べる内容を取り組みテーマとし、ハードウェアの製作、プログラムの設計と実装、評価までのプロセスを実習します。



光センサーや超音波センサーを組み込むなど電子工作を実践し、C言語によるプログラミングを駆使して、迷路の記憶・探索・走行制御を実現します

電気自動車

手動車いすの電動化を題材に、そこに含まれる「走る、曲がる、止まる」に関する基本原理を学べる内容を取り組みテーマとし、車体、モーター制御の企画から設計、製作、評価までのプロセスを実習します。



車いすの電動化を通じ、機構設計、工房での部品加工、Pythonによる制御、予算管理からこれらへの生成AIの適用まで、モノづくりの全工程を実践的に学びます

INTERVIEW

電気自動車コース

受講者にインタビュー

理論だけでは通用しない、実際にやってみて知る苦労

実習中、特に行き詰まったことや苦労したことはありましたか?

浅見: CADソフトや計算上では完璧だと思っけていても、実際に組み立ててみると、わずかな誤差で動かないことが何度もありました。学生の知識だけでは限界を感じることもありましたが、トヨタ自動車から指導員に来てくださっている前田指導員をはじめ、ティーチング・アシスタントの修士学生の河北さんや先生方からのアドバイスを手がかりに、対話を繰り返すことで一つひとつ解決していきました。

松浦: 私はソフト班としてプログラムを担当しましたが、エラーとの戦いでした。原因はコードミスのような軽微なものが多いのですが、それを見つけるために1行ずつ確認する地道な作業に長時間かかることもあり、しんどい思いもしました。でも、仲間と力を合わせて解決していくうちに、自分が組んだプログラムも精度を増していき、少しずつ余裕が出てきました。

個人プレーでは得られない、チームで生む相乗効果

チームでのコミュニケーションにおいて、大切だと感じたことは?

浅見: 「自分の担当じゃないから知らなくていい」という「縦割り」の考えを捨てる必要がありました。自分の担当するところが他のパーツと干渉し、影響し合うからです。メンバー全員で協力して「わからない」を解消していくことこそが、結果として後々のエラーを防ぐ「急がば回れ」の近道になると実感しました。

松浦: 私も「自分事」として捉える姿勢が重要だと感じました。それと同



前列左 浅見すみれさん(滝高等学校[愛知県]出身)と、同中央の松浦美里さん(天王寺高等学校[大阪府]出身)が感想を聞かせてくれました

時に、何でも言い合える雰囲気づくりですね。私たちのグループは肩の力を抜いて話せる環境だったので、自由に意見を出せました。自分の知っていることを仲間に伝え、仲間の知識と組み合わせることで、一人ではたどりつけない「より良いもの」が出来上がっていく過程も面白かったです。

「動いた!」その瞬間に宿る、モノづくりの真髄

モノづくりの楽しさを感じることはできましたか?

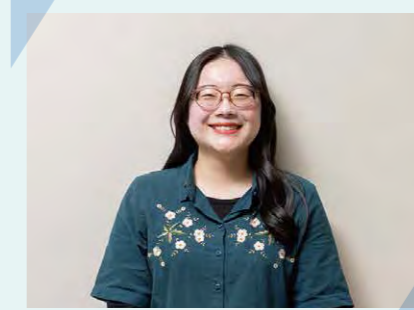
浅見: 当初はパソコン上での設計続きで、データ上で加工するだけでしたが、夏休みにEiji工房での「技能講習会」に参加し、部品を自主製作。自分の手で部品を加工した時の達成感、パーツが噛み合わない焦燥感、すべてがうまくいった時の爽快感は、



安全に走行可能、配線もすっきり

座学では味わえない、かけがえのない体験になりました。

松浦: 一番嬉しかったのは、自分が作り上げたプログラムで車いすが動き、実際に人を乗せて走った瞬間です。創造してきたものが組み合わせり完成品となって、目的が達成された時、「やってきて良かった!」と心から報われた気持ちになりました。モノづくりの難しさを経験して、楽しさに気づくことができたように思います。



浅見すみれさん



松浦美里さん



2026年度 入学式



工学部入学生誓いの言葉を述べる水向凌大さん

2026年度入学式を4月1日に豊田喜一郎記念ホールで挙行了ました。工学部100名、高等専門学校から3年次への編入生5名、大学院工学研究科修士課程56名、同博士後期課程3名が入学しました。中野学長



大学院工学研究科入学生誓いの言葉を述べる井上雄太さん

からの祝辞では、新入生のご家族や派遣元企業の皆さまへ感謝の意を表すとともに、本学の概要や特色などについて述べました。その中で、今年度より発足した「学生エンパワーメントセンター」を紹介し、同センターのコンセプトである「学生一人ひとりが自らの可能性を信じ、主体的に人生を切り拓く力を解き放つ」という言葉を引いて、新入生の今後の飛躍に大きな期待を寄せました。また、増田理事長より「豊田喜一郎の志を継ぐ本学の少人数環境で、豊かな人間性と創造的知性を備えた実践的技術者を目指してください」と祝辞を贈りました。続いて、豊田工業大学シカゴ

校のAvrim Blum学長より「研究交流や留学を通じ、共に工学やAI分野の未来を切り拓きましょう」というメッセージが贈られました。在学生からは、学部3年の山内凱斗さん（一宮高等学校[愛知県]出身）が代表して、歓迎の言葉を述べ、続けて、学部の水向凌大さん（時習館高等学校[愛知県]出身）、大学院の井上雄太さん（機能半導体デバイス研究室/灘高等学校[兵庫県]出身）が入学生代表として、それぞれ誓いの言葉を述べました。



増田義彦理事長



2026年度 入試結果 (4月1日時点)

	入試区分	入学定員	募集人員	志願者	受験者	合格者
工学部	一般入試	100	65	1329	1244	223
	大学入学共通テスト利用入試			1065	1065	351
	学校推薦型選抜	17	17	31	31	13
	公募推薦入試			高校にお問い合わせください		
	特別選抜	若干名	若干名	2	1	0
	帰国生徒入試			3	3	2
	国際バカロレア入試			0	0	0
	外国政府派遣留学生入試	18(若干名)	18(若干名)	0	0	0
	社会人入試(内 編入学試験)			7	7	4
	高等専門学校卒業予定者を対象とする第3年次編入学試験	6	6	28	23	17
大学院 修士課程	一般選抜	50	50	61	60	54
	学部3年次学生を対象とする特別選抜			0	0	0
	早期卒業予定者対象特別選抜			0	0	0
	社会人特別選抜			1	1	1
	ダブル・ディグリー・留学生入学資格審査			1	1	1
大学院 博士後期課程	夏季選抜(一般・社会人)	12	12	2	2	2
	冬季選抜(一般・社会人)			2	2	2
	留学生特別選抜			1	1	1

*工学部一般選抜には、追加合格者を含む

2025.10.1

名誉教授の称号を授与

2025年10月1日付で、保立 和夫 前学長・元教授、ならびに大石 泰丈 前副学長・元教授に、名誉教授の称号が授与されました。

保立和夫 前学長・元教授

お人柄がにじみ出る「落語」を交えたご退任の挨拶では、本学での日々を述懐 (2025.8.29)



保立和夫前学長は、1979年3月に東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程を修了し、1993年同大学先端科学技術研究センター教授、2015年同大学理事・副学長などを経て、2017年4月に本学副学長・教授として着任。2019年9月からは2期6年にわたり学長として教育・研究の発展に尽力されました。

本学着任時から2022年3月まで「システム光波工学」研究室を主宰。光ファイバセンシング分野で世界的に先駆的な研究を展開した実績を活かして学生指導にあたり、また、産学連携を含む研究活動を継続的に実施されました。

学長としての6年間は、新型コロナウイルスへの対応、新キャンパスの竣工、開学40周年、公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)の受審、そして新たな長期ビジョンの策定など、まさに本学の転換期でした。この重要な時期における諸課題への対応に奮闘。特に、「覚える」から「自ら深く考え理解する」学修への変革と実践に向けた取り組みを重ね、その成果を2024年に完成した長期ビジョンの柱の一つとして結実させ、本学の次世代への発展につなげていただきました。

大石泰丈 前副学長・元教授

最終講義では、英国ガラス協会 (SGT) でのフェロー称号授与についても報告 (2025.9.12)

大石泰丈前副学長は、1980年3月に東北大学大学院理学研究科博士前期課程を修了後、同年4月に日本電信電話会社(現NTT株式会社)に入社し、光通信分野の研究開発に従事。その後、1988年に東京工業大学より工学博士の学位を授与されました。2002年9月に本学主担当教授として着任し、2013年9月から2025年8月まで副学長を務め、本学の経営方針や教育・研究戦略の策定に中心的な役割を担いました。

本学在任中に主宰した光機能物質研究室では、超広帯域スーパーコンティニューム光発生や波長変換に関する研究において、国内外の研究潮流を先導。これらの多岐にわたる研究成果は、応用物理および光通信分野で多くの受賞を果たすなど、高く評価されています。

その他、総合情報センター長、先端フotonテクノロジー研究センター長、スマート光・物質研究センター長、ナノテクノロジーセンター長を歴任するなど、本学の教育・研究拠点の運営を主導。さらに予算委員会、博士課程委員会、人事検討会議、入試委員会など、大学運営に関わる重要な会議体の委員長として、組織の高度化と改革推進に多大な功績を残されました。

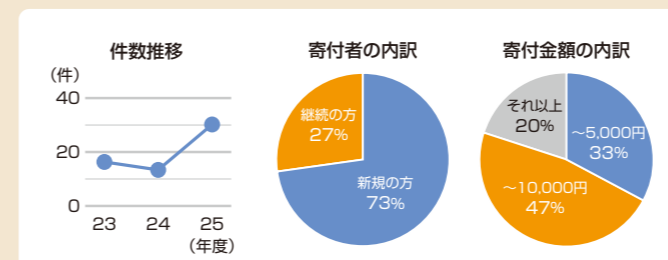


2025年度寄付金のお礼とご報告

皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。寄付実績につきまして、下記の通りご報告いたします。

【寄付金の活用】

- 自習の際に有用な「化学分子模型」をラーニング commons に設置しました。
- C言語プログラミング授業での実習用機材として「小型計算機」を購入しました。
- 工学実験(物質)で使用する、実験器具セットを購入しました。
- 海外留学の機会をより多く提供することを目的とし、海外英語演習を履修する学生への渡航費用補助に活用しました。



区分	件数	寄付金額
卒業生・修了生・ご家族	24件	255,000円
学園関係者	6件	190,000円
合計	30件	445,000円



学内ラボツアーの様子(カナダ)

英語クラスの集合写真(マレーシア)

多くの皆さまより、5千円から1万円のご寄付をいただいております。一つひとつの大切なご支援が、私たちの大きな力になっています。寄付のご案内はWebページをご覧ください▶

お問い合わせ先: 豊田工業大学 経理部 経理・調達グループ





NEWS FILE

豊田工業大学の今を伝えるニュースやトピックス

ホームページもCHECK



FILE 01

12/20

第20回 南山大学・豊田工業大学連携講演会を開催

今回は「第20回記念 学長講演」として企画され、南山大からは、ロバート・キサラ学長が「現代宗教の研究」をテーマに講演を行いました。本学の中野義昭学長が「一時的な体調不良で、急遽、齋藤和也副学長が代理で登壇。『光ファイバ通信から光衛星通信へ』と題して、未知の領域へ果敢に挑むマインドの重要性を強調。若者の挑戦を社会全体で後押ししたい」と語りました。座談会では、南山大の奥田太郎副学長の進行のもと、激変する社会において両大学が掲げる将来ビジョンや人材育成のあり方、今後の連携の可能性について意見交換を行うなど、あいにくの天候のなか、多くの方にご来場いただき、両学の「知」の交流を深める会となりました。



予測不能な時代を切り拓く人材育成、教育の未来を多角的に議論

FILE 02

3/5

第6回 次世代文明センターシンポジウムを開催

名古屋大学大学院教育発達科学研究科の渡邊雅子教授を招聘し、「文化間の衝突を超えて—文化で異なる〈論理〉の構造」をテーマにご講演いただきました。論理構造には、米国の経済合理化やフランス流の合意形成など、文化に基づいた多様性があり、場に応じて論理を選択し使いこなす「多元的思考」の重要性を説かれました。渡邊先生の長年に渡る研究成果に基づき、思考、論理、文化、教育、モノの見方などをキーワードとして、思考と論理、文化と論理の関係について、昨今の世界情勢や国際問題にも思いを馳せながら、参加者の皆さんとともに思考を巡らせる機会となりました。



文化ごとに異なる「論理」の構造を解明

FILE 03

10/23

スマートビークル研究センターシンポジウム／ジョイントCSセミナーを同時開催

人間社会が持続的に発展するための、未来の移動体に関する研究を行う「スマートビークル研究センター（2021年設立）」の第15回シンポジウムおよび、2003年に豊田工業大学シカゴ校（TTIC）を開校して以来、情報技術・科学関連の研究者およびTTIC教員が講演を行う「第21回ジョイントCSセミナー」を今年も同時開催。東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 鈴木真二氏およびTTIC Associate Professor Matthew Walter氏による招待講演をはじめ、本研究センターの活動報告を行いました。



TTICのM. Walter准教授が登場し、次世代モビリティが拓く未来を展望

FILE 04

12/4

産学官向けオープンラボを開催

本学の研究成果を広く社会に開き、新たな価値を共創する「オープンラボ」。すべての研究室を公開するとともに、先端材料の形成・物性解明・素子応用などで、学内外で共同利用されるクリーンルームの視察を通じ、本学の「研究の質」を多角的に発信。また、特別講演では、NTT株式会社の川添彦彦氏を招聘。「IOWN誕生から5年 次の5年に向けて」をテーマにご講演いただきました。若手研究者による交流会では、ポスター発表を通じ、本学博士・修士学生が「AI×材料×機械 分野横断的な活用と研究動向」をテーマに研究発表を行いました。



特別講演にNTT(株) チーフエグゼクティブフェローの川添彦彦氏を招聘し、知の最前線を共有

FILE 05

12/19

愛知県・大村秀章知事が学内を視察

初めてのご来学となった今回は、本学のルーツや独自の教育体系などを12名の学生がリレー形式で説明し、見どころとなる学内施設を巡りました。特色ある本学の教育環境で成長を遂げる学部生の声や先端研究に取り組む大学院生の説明を熱心に傾聴し、質問を投げかけるなど、和やかな時間を過ごしました。視察の締めくくりには、学部2年の講義を訪問。愛知県のさらなる産業発展に向けた人材育成の重要性について語り、「愛知の未来を支える研究拠点として、引き続き大きな役割を期待したい」との激励の言葉をいただきました。



県政リーダーの直々の激励を受ける学部2年

人事紹介

NEW MEMBERS OF FACULTY

2026年3月31日をもって、4名の教授が定年退職を迎えました。

定年退職 熱エネルギー工学研究室

武野 計二 教授



2013年3月に本学着任、専門は燃焼、伝熱、安全工学、エネルギーシステム。最終講義では「炎の科学と共に歩んだ40年の軌跡」と題し、「カーボンニュートラル」の鍵を握る「水素」や「バイオマス」に関する研究成果について解説。企業の研究所および本学学生と共に歩んだ日々を、多くの失敗談を交えて振り返りました。4月1日付で特任教授に就任。

定年退職 ものづくりの科学研究室

藤原 茂喜 教授



2015年10月に本学着任、専門はエンジニアリングデザイン、設計工学。最終講義は創造性開発教育や技術者倫理など、「ものづくり」に関する研究を紹介。創造性開発・実践教育などPBLへの想いや技術者倫理に対するリスクマネジメントの手法を共有しました。4月1日付で特任教授に就任。

定年退職 固体力学研究室

下田 昌利 教授



2010年4月に本学着任、専門は形状・構造最適化、CAE、計算力学。最終講義では「私の遍歴—出会いと別れ—」と題し、これまでの企業での実務から大学での研究までの紆余曲折の歩みに触れ、「自分の引き出しを多く持ち、チャンスを活かして」と学生へメッセージを贈りました。4月1日付で特任教授に就任。引き続き、固体力学研究室を主宰。

定年退職 量子界面物性研究室

神谷 格 教授



2004年10月に本学着任、専門は量子ナノ構造を用いた界面の構造・電子物性。「量子構造表面・界面の光・電子物性（パッシベーションを含む）」や「Ⅲ-V族半導体のエピタキシャル結晶成長—機構と物性」などを研究テーマとし、量子構造の基礎研究から応用まで、幅広い研究に取り組みました。4月1日付で特任教授に就任。引き続き、量子界面物性研究室を主宰。

新任

生体機械医工学研究室 教授

奥山 武志

OKUYAMA, Takeshi



主な経歴 MAIN CAREER

- 2006年 4月 財団法人 電力中央研究所 協力研究員
- 2007年 4月 東北大学 大学院工学研究科 助教
- 2015年 4月 東北大学 大学院工学研究科 准教授
- 2026年 4月 本学教授に着任

主な研究分野 Main Research Fields

人間の動作に伴う物理現象や生体信号の計測・解析を基盤として、工学と医学を橋渡する技術の創出に取り組んでいます。人間の巧みな動作に不可欠な繊細な触覚と力加減に着目し、これまで主観的であった医療従事者の熟練技能を可視化するため、医療従事者の指先の感覚を妨げずに力加減を計測する独自手法の確立に挑戦しています。

新任

情報通信研究室 助教

魏 藍天

WEI, Lantian



主な経歴 MAIN CAREER

- 2018年 4月 岐阜大学 大学院自然科学技術研究科 修士課程
- 2020年 4月 岐阜大学 大学院工学研究科 博士課程
- 2023年 4月 名古屋工業大学 情報工学科 特任研究員
- 2026年 4月 本学助教に着任

主な研究分野 Main Research Fields

無線通信における信号処理と機械学習の融合を研究しています。通信システムの数理モデルを深層学習の構造に組み込むことで、受信信号の検出や誤り訂正、通信路の推定といった基盤技術の高性能化に取り組んでいます。理論に根差した学習手法により、高精度かつ低計算コストな通信技術の実現を目指しています。

新任

光機能物質研究室 助教

DE CLERMONT, Jonathan



主な経歴 MAIN CAREER

- 2019年11月 名古屋工業大学PD研究員
- 2021年12月 豊田工業大学PD研究員
- 2025年 7月 Fraunhofer IOSB 研究員
- 2026年 5月 本学助教に着任

主な研究分野 Main Research Fields

私の研究は、主に光ファイバーなどの光学応用を目的としたテルライトガラス（酸化テルル系ガラス）を対象としています。これまでに、これら「ソフトガラス」の構造・物性相関および流動性を解明し、複雑な構造を持つ特殊光ファイバーの作製に取り組んできました。現在は、量子ドットや希土類イオンをガラス系に組み込んだ、新しいハイブリッド型光センサーの開発を行っています。本研究は、産業および自動車分野の安全向上に向けた高感度なセンシングプラットフォームの構築を目的としています。

昇任／新設研究室(2026年4月)

計算力学研究室 教授

椎原 良典

(マルチスケール計算材料力学)



電子論に基づく原子応力解析、金属ガラスの変形機構の解明、機械学習を用いた大規模シミュレーションといった多角的なアプローチにより、計算力学とAI技術を融合させ、原子からマクロへつながる材料の強さと壊れ方の科学を紐解きます。

昇任／新設研究室(2026年4月)

相関電子材料研究室 教授

松波 雅治

(強相関電子系、熱電材料、放射光科学)



従来は基礎研究の対象であった強相関電子系に対し、負熱膨張や熱電変換といった次世代機能性材料への応用研究を進めています。先端計測技術を利用することで、電子軌道のレベルから機能性の起源を解明し、それを制御することを目指します。

昇任(2026年5月)

スピントロニクス研究室 教授

田辺 賢士

(スピントロニクス、磁性、酸化物)



電子のスピン自由度に着目し、物理現象の解明や新材料の探索を目指しています。非晶質、不均一といった未開拓の無秩序系を舞台に、熱、光、機械学習など最先端技術を駆使し、次世代型スピントロニックデバイスの研究に精力的に取り組めます。

豊田奨学基金 研究賞 研究業績賞

本学教員が個人または共同で行った研究であり、学術あるいは技術の発展に寄与し、大いに社会に貢献すると認められる研究に対し、その業績を顕彰することを目的として授与する。

受賞名	受賞者(研究室)	研究業績・テーマ
研究業績賞	下田昌利 教授 (固体力学)	構造最適化問題の解法とその設計問題への応用に関する研究



修了式にて、修士課程の寺口勇作さんが「豊田奨学基金賞」を受賞

豊田奨学基金賞

学業成績・人物共に特に優秀な学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	井上雄太 (灘高等学校 [兵庫県])	機能半導体デバイス
修士	寺口勇作 (桃山学院高等学校 [大阪府])	エネルギー材料

派遣企業の会 社会人学生優秀賞

研究・学修に励んできた優秀な社会人学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	大谷知暉 (トヨタ自動車株式会社)	知能情報メディア

英語優秀賞

学部卒業時に、英語Step-Up Point (E-SUP) 制度*の獲得ポイントが上位の学生に授与する。

受賞名	受賞者	E-SUP ポイント	研究室
英語最優秀賞	加藤早紀 (菊里高等学校 [愛知県])	483	スピントロニクス
英語優秀賞	池野音葉 (南山高等学校 [愛知県])	444	流体工学
	叶裕貴 (各務原高等学校 [岐阜県])	411	表面科学

*英語Step-Up Point (E-SUP) 制度

入学から卒業まで継続的に英語を学ぶことを狙いとした本学独自の制度。TOEIC®L&R (公開およびIPテスト)への取り組みをはじめ、各種英語イベントへの参加などを通じてポイントを獲得する。なお、卒業には100ポイント以上獲得することが必要となる。



「英語優秀賞」に輝いた、(左から)池野音葉さん、叶裕貴さん、加藤早紀さんの3名

学会表彰

各学会から、人格・学業共に優秀であると認められた学生に授与する。

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会島山賞(学部)	池野音葉 (南山高等学校 [愛知県])	流体工学
日本機械学会三浦賞(修士)	加藤蒔登 (豊田工業高等専門学校 [愛知県])	固体力学
電気学会東海支部長賞	井上雄太 (灘高等学校 [兵庫県])	機能半導体デバイス
自動車技術会大学院研究奨励賞	加藤蒔登 (豊田工業高等専門学校 [愛知県])	固体力学
精密工学会東海支部学生優秀賞	加藤一翔 (株式会社豊田自動織機)	知能データ工学
電子情報通信学会東海支部学業成績優秀賞	丸山悠斗 (向陽高等学校 [愛知県])	情報通信
	吉田有輝 (名古屋大学教育学部附属高等学校 [愛知県])	知能情報メディア
計測自動制御学会SICE優秀学生賞	榎田雅晴 (沼津工業高等専門学校 [静岡県])	情報通信
	木下貴翔 (瑞陵高等学校 [愛知県])	知識データ工学
計測自動制御学会中部支部賞学業優秀賞	所京太郎 (岐阜北高等学校 [岐阜県])	知能情報メディア
	松田小町 (西尾高等学校 [愛知県])	機能半導体デバイス
日本設計工学会武藤栄次賞優秀学生賞	市川直人 (時習館高等学校 [愛知県])	流体工学
	篠島拓馬 (名古屋高等学校 [愛知県])	固体力学

COVER STORY

進むなら、足跡のない方へ。



齋藤 和也(さいとう かずや)
副学長
フロンティア材料研究室 教授
専門はフォトニクス材料・デバイス

自由と自主性が「心躍る」原動力に

本学は今「もっと心躍る大学に!」を合言葉に、さまざまな取り組みを進めています。大学生活において「心が躍る」瞬間を生み出すためには、何よりも学生一人ひとりが自由な雰囲気の中で、のびのびと自主的に活動できる環境が不可欠です。本誌P.4~5の特集では、非常に頼もしい声が多く聞かれました。「もっと授業を楽しみ、主体的に学びたい」「自分の興味のある分野を、とことん追求したい」「研究活動が本当に面白い」、こうした知的好奇心にあふれる前向きな意見が学生の皆さんから自然と湧き上がっていることを、大学として大変うれしく、そして誇らしく受け止めています。もちろん、学びや研究の過程では、困難な壁にぶつかるところもあるでしょう。しかし、あえてその困難に果敢にチャレンジし、乗り越えた先にある「達成感」を一度でも味わえば、それは大きな喜びに変わり、次への原動力となります。本学は、未知への探求心を持ち、日々の研究と創造のプロセスに心躍らせる学生が一人でも多く育ってくれることを強く期待しています。

ADVANCEの
感想をお聞かせ
ください



アンケートフォーム